2025年大阪・関西万博アクションプラン Ver.6のポイント

国際博覧会推進本部事務局
令和６年9月

※ 記載内容は令和６年9月現在のものであり、今後変更することがあります。

アクションプランの位置付け

「未来社会の実験場」の具体化と、日本全国における万博メリットの享受に向け、**各府省庁の施策を総結集**（令和３年12月に国際博覧会推進本部で決定され、その後半年に１回程度改訂。13府省庁の取組を登録。）

◆Ver.6改訂のポイント→**各アクションプランの内容や実施場所、期間の具体化**

2025大阪・関西万博
「いのち輝く未来社会のデザイン」

パビリオン

- 公式参加国パビリオン
- シグネチャーパビリオン（８人のテーマプロデューサー）
- 日本政府館・自治体館
- 民間パビリオン
- ウーマンズパビリオン

イベント

- 公式行事（開会式・閉会式、ナショナルデー・スペシャルデー、BIEデー）
- 主催者催事
- 参加催事（公式参加者、省庁連携・自治体・出展者・協会協力・一般）

未来社会のショーケース

- スマートモビリティ万博
- デジタル万博
- バーチャル万博
- アート万博
- グリーン万博
- フューチャーライフ万博

アクションプラン
各府省庁の施策

機運醸成

アクションプランの全体像

1．未来社会の体験

社会的課題に対処しつつ、一人一人が豊かな将来の生活像を提示

一人一人が多様な幸せを実現できる社会

POINT 01　AI×ロボットによる未来社会の体感

AIを活用した人型ロボットなどの活用により、障がいを乗り越え、物流の効率化が図られるなど、人々の生活はより豊かになる。万博では、最先端のテクノロジーが私たちの生活の一部に溶け込んだ未来社会を先取りして体験。

POINT 02　デジタル技術による社会課題解決

最先端のデジタル・超高速通信技術が実装された社会や人の在り方の変容を体感。会場内では、AI・AR機能を活用した個人向け最適化サービスを提供。

POINT 03　最先端のモビリティ技術の社会実装

万博会場内外で、世界で開発・実装が進む陸・海・空の新たなモビリティを披露。実際に運航する姿を間近で見られる他、会場アクセスや会場内移動での体験も。

POINT 04　未来のヘルスケア技術の体験

世界最高水準の医療・ヘルスケアサービスの提供に資する研究開発・新産業創出の成果を会場内で実装し、健康な生活及び長寿を享受できる持続可能な社会の在り方を示すと同時に、世界に向けて日本型医療・ヘルスケアサービスを発信。

フロンティア開発

POINT 05　宇宙･海洋開発の可能性の体験

JAXAによる小惑星探査や月面探査の成果や展望が体感できる展示・イベントや、量子宇宙・海洋地球の分野をアート、テクノロジー、サイエンスの協働により表現し、人類の宇宙・海洋開発の可能性やいのちの奇跡を体感。

持続可能で強靭な社会

POINT 06　災害からの復興と防災技術の利用

「復興」や「防災・減災」に向けた日本ならではの取組として、未来に向けた「創造的復興」の発信。阪神・淡路大震災、東日本大震災、能登半島地震などの被災地の文化や産業を積極的にPRし、力強い復興につなげていく。

POINT 07　GXによる未来社会の体験

水素・アンモニア発電による電力供給、ペロブスカイト太陽電池、CO2回収・固定技術など、カーボンニュートラル実現に資するGX技術を先行的に実装。会場内はカーボンニュートラルを実現。

POINT 08　循環型社会に向けた取組

循環型社会実現のための技術を紹介するともに会場内での資源循環を実現する。

SDGs社会

POINT 09　こども･若者による未来社会の体験

未来を創るこども・若者世代が、万博での体験を通して自身の考えを深めたり、それを発信する機会を提供。

POINT 10　障がい者が参加･参画する共生社会

万博会場内外において、障がいの解消に資する技術の紹介や、障がい者が参加するイベント開催などを通じて、障がい者が社会の対等な構成員として社会の活動に参加・参画する共生社会を体感。

POINT 11　SDGs達成に向けた取組の発信

持続可能な開発目標（SDGs）とその先に向けた取組を紹介し、取組の加速につなげる。

2．　日本の魅力発信

日本の成長につながる魅力・価値・技術を発信

日本の魅力発信

POINT 12　クールジャパン･日本の文化の発信

世界的に人気な日本のアニメ・マンガなどのクールジャパンコンテンツを国内外に広く発信する。未来を想起させる創造的な展示手法や外国人視点で日本文化の魅力を再発見につなげる。

POINT 13　地域の魅力の発見･発信

日本の地域の魅力を再発見し、世界中からの来場者に発信することで、インバウンドの拡大や地域振興につなげる。

POINT 14　食の文化と暮らしの発信

日本の豊かな食文化と、それを維持するための取組を世界に発信

スタートアップ・中小企業発信

POINT 15　スタートアップ･中小企業発信

未来社会の実現に向け重要な技術を持つスタートアップや中小企業を世界に紹介し、新たなビジネス創出につなげる。

3．万博を契機とした地方活性化（全国大のメリット化）＜万博交流イニシアチブ＞

万博を契機とした地方活性化

万博のメリットを大阪・関西のみならず日本全国が享受し、地方活性化を実現

各地域への誘客促進

･デジタル田園都市国家構想交付金

各地域の国際交流推進

･万博国際交流プログラム

実施効果を高めるための取組

テーマウィークとの連動
（ポストSDGsなど未来社会に向けた日本の発信強化）

〇テーマウィークと連動し、集中的に催事等を実施することにより、一般来場者の体験に加え、テーマウィーク期間に来訪する学識経験者、産業界、政府関係者との交流も促進。

未来への文化共創ウィーク
（4月25日～5月6日）
伝統芸能、歴史遺産、地域活性化、観光、アート、音楽、スポーツ、文化芸術、クールジャパン、マンガ・アニメ、eスポーツなど。

平和と人権ウィーク
（8月1日～8月12日）
飢餓、貧困、格差社会、人権侵害、児童労働・強制労働、人身売買、障がい者参加、ジェンダー平等、LGBTQ、女性の活躍推進、移民、人間の安全保障、多様性と包摂性など。

未来のコミュニティとモビリティウィーク（5月15日～5月26日）
スマートシティ、デジタル田園都市、防災・復興、メタバース、宇宙、ロボット、EV・FCV、自動運転、空飛ぶクルマ、サイバーセキュリティ、MaaSなど。

学びと遊びウィーク
（7月17日～7月28日）
生涯学習、EDTEC、知財活用、個別最適化学習、遠隔教育、若者自立、教育格差、STEAM、アントレプレナーシップ、世界の遊びなど。

食と暮らしの未来ウィーク
（6月5日～6月16日）
フードロス、フードテック、食育、食文化、スマート農林水産業、サステナブルファッション、エシカル消費など。

地球の未来と生物多様性ウィーク
（9月17日～9月28日）
気候変動、脱炭素、生物多様性、サーキュラーエコノミー、再生可能エネルギー、水素社会、ネイチャーポジティブ、森林破壊、海洋汚染、里山再生、淡水資源など。

健康とウェルビーイングウィーク
（6月20日～7月1日）
感染症対策、ウェルビーイング、ゲノム医療、再生・細胞医療・遺伝子治療、PHR、健康寿命、安全な水とトイレなど。

SDGs+Beyond いのち輝く未来社会ウィーク
（10月2日～10月12日）
SDGs、ポストSDGs、いのち、未来社会、Society5.0など。

会場外のMICE（ビジネスイベント、国際会議等）及び地域の取組との連動

（１）ビジネス（国際展示会、ビジネスミッション）

①　国際展示会

・ジャパンヘルス
（2025年６月25日～27日@インテックス大阪）
（医療、ヘルスケア等）
・未来モノづくり国際EXPO
（2025年７月16日～19日@インテックス大阪）
（ロボット、環境、防災、ウェルビーイング）

②　ビジネスミッション

・商談会、視察のアレンジ

（２）国際会議

労働環境関連国際会議（詳細は2024年秋頃発表）

（３）地域

けいはんな万博（ロボット、AI、モビリティ、ウェルビーイング、環境等）

POINT 01

AI×ロボットによる未来社会の体感

未来のコミュニティとモビリティウィーク
5.15(THU) ▷ 5.26(MON)

※関連するテーマウィーク

AIを活用した人型ロボットなどの活用により、障がいを乗り越え、物流の効率化が図られるなど、人々の生活はより豊かになる。万博では、最先端のテクノロジーが私たちの生活の一部に溶け込んだ未来社会を先取りして体験。

実証

AIスーツケースの実証

（調整中）
全会期中

視覚障害者を目的地まで安全に誘導する自律型ロボット「AIスーツケース」の複数台同時稼働及び屋内外走行を万博会場で実証し、社会実装への契機とすることで、AI・ロボティクス技術を活用したバリアフリーな社会を目指す。

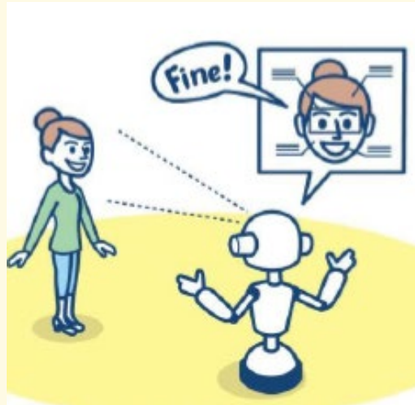
実施主体：国立研究開発法人 科学技術振興機構
日本科学未来館、一般社団法人次世代移動支援技術開発コンソーシアム

AP_36 文科省

実証

自律学習ロボットとの対話

FLE
5月20日～26日



会話から学習するロボット、人の動きを理解してサポートしてくれるロボット、豊かな表情を見せるロボットなど、心を持ったロボットとの生活を想起させるような展示を行い、自律学習ロボットが私たちの生き方をより豊かにしてくれることを実感いただく。

実施主体：国立研究開発法人 理化学研究所

AP_69 文科省

催事

ロボットフレンドリーな社会

EXPOメッセ
7月13日～7月19日

「未来づくりロボットWeek」として、ロボットの過去、現在、未来を来場者が五感で感じるとともに、ロボットフレンドリーな未来社会を体感できる催事を実施。

実施主体:経済産業省、民間事業者等

AP_70 経産省

ムーンショット目標で実現される世界

FLE
7月22日～9月15日

ムーンショット型研究開発制度が目指す目標（「身体、脳、空間、時間の制約からの解放」「自ら学習・行動し人と共生するAIロボット」など）が実現する2040年、2050年の未来社会像のイメージを紹介。

実施主体：内閣府科技、JST(文科省)、NEDO(経産省)、BRAIN(農水省)、AMED(内閣府健康医療、文科省、厚労省、経産省)

AP_76 内閣府

POINT 02

デジタル技術による社会課題解決

未来のコミュニティとモビリティウィーク
5.15(THU) ▷ 5.26(MON)

※関連するテーマウィーク

最先端のデジタル・超高速通信技術が実装された社会や人の在り方の変容を体感。会場内では、AI・AR機能を活用した個人向け最適化サービスを提供。

FLE
5/13-5/26

催事 次世代グリーンデータセンター技術

Society 5.0がもたらす未来の暮らしのイメージを来場者に体感いただき、膨大なコンピューティングパワーを少ない電力で供給する次世代グリーンデータセンター(GDC)の役割とそれを実現する最新技術を紹介。

実施主体：次世代デジタルインフラの構築プロジェクト採択事業者

AP_16 経産省

ギャラリーWEST
5/20-5/24

催事 サイバー/フィジカル融合

没入感のあるVR体験を提供するヘッドマウントディスプレイ（HMD)と、振動や重力を体感可能なチェアを組み合わせた空間体験デバイスにより、３D都市モデル内を移動する体験を提供。

実施主体：国土交通省・民間企業

AP_35 国交省

会場内
全会期中

実証 高度な多言語翻訳技術の体験

万博版自動翻訳アプリ

セミナーの講演内容をAIで同時通訳

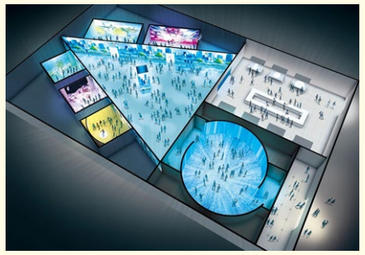
多言語翻訳技術について、現状の逐次翻訳に加えて、AIによる実用レベルの同時通訳を万博会場に実装・活用することにより、言葉の壁から解放された体験を実現。来場者や万博スタッフ等が活用できる万博版自動翻訳アプリを提供。さらにツアー、セミナーやバーチャル会場等において、自動翻訳を実施。

実施主体：未来社会ショーケース事業出展者等

AP_27 総務省

EXPOメッセ
5/26-6/3

催事 Beyond 5G ready

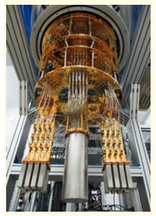


2030年頃に実用化を目指している次世代移動通信システム「Beyond 5G」によって社会・生活がどのように変わるかを、「Beyond 5G ready ショーケース」として体験型展示を実施。

実施主体： 総務省・NICT・民間事業者等

AP_28 総務省

催事 量子技術が切り拓く未来社会



量子への理解を深め、今後、人類が量子にどう向き合っていくのか、量子技術が切り拓く未来社会はどうあるべきか、を考えるきっかけとなるように、イベントの開催やアート＆テクノロジーによる展示を実施。

実施主体：量子技術イノベーション拠点、民間事業者等

AP_32 内閣府

EXPOメッセ
8/22-8/31

催事 デジタルライフラインにより実現するSociety5.0の体感

企業や業界、国境をまたぐ横断的なデータ連携を推進するためのイニシアティブである「ウラノス・エコシステム」を通じて実現する、サイバー空間とフィジカル空間が高度に融合したSociety5.0の社会を体感できるような、ドローン、自動運転、インフラ管理のDXに関する取組等の体験型展示を実施。

実施主体：民間事業者等

AP_31 経産省

催事 地域データの可視化

FLE
5/13-5/19

地域のオープンデータを活用した地域課題の特定から、デジタルを活用した課題解決までの一連の体験を映像コンテンツで提供。

実施主体：内閣府地方創生推進室等

AP_29 内閣府

催事 デジタル田園都市国家構想

スタジオ
5/23、8/21

「デジタル田園都市国家構想」のモデルとなる取組を発信し、少子高齢化など諸外国にも共通する社会課題解決のロールモデルを示す。

実施主体：内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局、地方公共団体、民間企業・団体

AP_30 内閣官房

POINT 03

最先端のモビリティ技術の社会実装

未来のコミュニティとモビリティウィーク
5.15(THU) ▷ 5.26(MON)

※関連するテーマウィーク

万博会場内外で、世界で開発・実装が進む陸・海・空の新たなモビリティを披露。実際に運行/運航する姿を間近で見られるほか、会場アクセスや会場内移動での体験も。

実証 自動運転の実証

会場内外 全会期中

想定ルート①：新大阪駅・大阪駅ルート　想定ルート②：舞洲駐車場～万博会場　想定ルート③：万博会場内の外周道路

無人自動運転サービスの実現・本格化に向けて、万博の来場者輸送を担う一部のEVバスで自動運転を実現。

実施主体：想定ルート①：京阪バス、阪急バス
想定ルート②、③：Osaka Metro

AP_4 デジ庁・国交省・警察庁・総務省・経産省

実証 EVバスの技術・ノウハウ発信

会場内外 全会期中

会場内外周バスや会場アクセスバスにおいて、EVバスを積極的に活用し、世界への技術・ノウハウを発信。運行管理と一体となったエネルギーマネジメントシステム（EMS×FMS）、走行中に利用可能な無線給電（DWPT）の実証を行う。

実施主体：バス運行事業者

AP_5 経産省・国交省・環境省

実証 次世代船舶の体験

会場外 全会期中

水素燃料や電気を動力とする次世代船舶を万博会場と中之島ゲート／ユニバーサルシティポートを接続する航路で運航し、来場者に環境に配慮した次世代船の技術を体感してもらう。

実施主体：船舶運航事業者

AP_11 経産省・国交省

※航路は予定

実証 空飛ぶクルマの実現

会場内外 全会期中

空飛ぶクルマは、将来的にエアタクシーや観光・エンターテインメント、救急医療など様々なユースケースでの活用が期待されている。国内外の複数の機体による万博会場周辺の飛行や会場内外の離着陸場を結ぶ二地点間運航を実現することで、空飛ぶクルマが実際に運航する姿を国内外に発信する。

実施主体
運航事業：ANA ホールディングス株式会社及びJoby Aviation
日本航空株式会社、丸紅株式会社、株式会社SkyDrive
会場内ポート運営：オリックス株式会社

※2024年8月時点

AP_3 経産省・国交省

シームレスな移動サービスの提供

会場外

関西MaaS協議会が運用を開始したスマートフォンアプリ「KANSAI MaaS」において、万博来場者に対して、各種交通モードの予約・決済等のサービスをワンストップで提供。万博を契機に交通の利便性を向上させる。外国語にも対応。

実施主体：関西MaaS協議会

AP_6 国交省

POINT 04

未来のヘルスケア技術の体験

健康とウェルビーイングウィーク
6.20 FRI ▷ 7.1 TUE

※関連するテーマウィーク

世界最高水準の医療・ヘルスケアサービスの提供に資する研究開発・新産業創出の成果を会場内で実装し、健康な生活及び長寿を享受できる持続可能な社会の在り方を示すと同時に、世界に向けて日本型医療・ヘルスケアサービスを発信。

催事

医療分野における新技術の展示・紹介

EXPOメッセ
6/21-6/29

Personal Health Recordを活用した万博体験

万博会期前から蓄積した個人の健康医療情報（PHR）を元に、個々人の健康状態に即してカスタマイズされたサービス体験を提供。

実施主体：経済産業省、民間企業等

AP_42 経産省

再生・細胞医療・遺伝子治療分野の情報発信

模型や映像等を用いた展示を通じて、今まで治すことが難しかった病気が「治る」といった身近な身体の仕組み等に対する理解を増進する。

実施主体：厚生労働省、民間団体等（P）

AP_37 厚労省

次世代医療機器等の体験コーナー

最新の医療機器や福祉機器の展示や体験コーナー等を設置し、最先端の医療を享受できる未来を体感。（例）手術支援ロボット、排泄予測デバイス　等

実施主体：経済産業省・民間企業等

AP_38 経産省

障害者自立支援機器等開発促進

障害者の自立と社会参加の促進、QOLの向上のための支援機器及び技術の展示・情報発信を実施。（例）視線検出、ジェスチャ認識、遠隔就労支援ロボット、こどもの義手 等

実施主体：国立障害者リハビリテーションセンター

AP_40 厚労省

UHCに関する情報発信

ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）の重要性やUHC達成に向けた我が国の取組み等について、楽しく学べる展示を実施。

実施主体：厚生労働省

AP_46 厚労省

介護ロボット等テクノロジー

介護ロボットの体験や現場の好事例紹介を行う展示ブースの設置などにより、介護ロボット等に関する情報発信を行う。

実施主体：厚生労働省、民間企業（予定）

AP_43 厚労省

日本の先進的な医薬品等の情報発信

先進的な医薬品・医療機器等について、国内メーカーと協力し創り上げた近未来のストーリーを映像等で体感してもらい、日本の医薬品・医療機器産業の技術力を効果的に発信。

実施主体：厚生労働省・民間メーカー

AP_39 厚労省

認知症バリアフリーの取組推進

認知症に対する理解を広め、認知症になっても自分らしく暮らせる共生社会の実現に向けたメッセージを発信。VR疑似体験、認知症理解するための展示、認知症研究の最新情報の紹介などを行う。

実施主体：厚生労働省、公募

AP_45 厚労省

スタジオ
5/31、6/22

催事

スマート・ライフ・プロジェクト

＜健康寿命をのばそう！アワードトロフィー＞

スマート・ライフ・プロジェクトを通じ、健康づくりに係る優れた取組を行う団体の発表、参画団体の交流や好事例の横展開を実施。 世界禁煙デー（5/31）に合わせて禁煙及び受動喫煙防止イベントを開催。

実施主体：厚生労働省

AP_44 厚労省

POINT 05

宇宙・海洋開発の可能性の体験

未来のコミュニティとモビリティウィーク
5.15(THU) ▷ 5.26(MON)

※関連するテーマウィーク

JAXAによる小惑星探査や月面探査の成果や展望が体感できる展示・イベントや、量子宇宙・海洋地球の分野をメディア・アートにより表現することなどにより、人類の宇宙・海洋開発の可能性やいのちの奇跡を体感。

催事

月に立つ、その先へ

FLE
全会期中

アルテミス計画（米国の有人宇宙飛行計画）の実現に向けた取組が加速するなど、我が国を含めた世界で宇宙利用開発は大きな進展を見せる中、月やその先の火星も見据えた宇宙利用開発の取組を国内外に広くPRするため、企画展示及びトークイベントを開催。

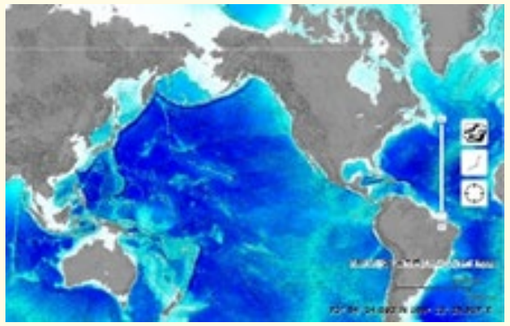
実施主体：宇宙航空研究開発機構（JAXA）

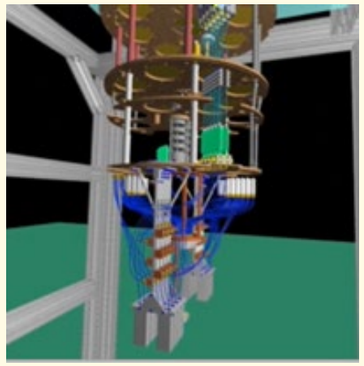
AP_90 文科省

催事

量子宇宙・海洋地球×芸術

FLE
8/12～8/21





量子力学、海洋・地球科学技術分野や海洋データに関する内容の展示をアート、テクノロジー、サイエンスの協働により表現。
非常にミクロな世界である量子や、広大な未知の時空間である海洋や宇宙など、人間のスケールとの差が大きく体感的に理解することが難しい研究領域について、アートによって直感的に触れ、共感を通じて科学技術の魅力を紹介する。

実施主体：内閣府、総務省、文部科学省等

AP_71 内閣府

POINT 06

災害からの復興と防災技術の利用

未来のコミュニティとモビリティウィーク
5.15(THU) ▷ 5.26(MON)

※関連するテーマウィーク

「復興」や「防災・減災」に向けた日本ならではの取組として、未来に向けた「創造的復興」の発信。阪神・淡路大震災、東日本大震災、能登半島地震などの被災地の文化や産業を積極的にPRし、力強い復興につなげていく。

催事

東日本大震災からの復興・地域の魅力発信

メッセ 5/19-5/24
ポップアップステージ西 5/20
会場外（被災三県） 会期中P

東日本大震災からの「よりよい復興（Build Back Better）」を目指して力強く立ち上がる姿を発信するとともに、被災地の交流・関係人口拡大に向けた取組を実施。
具体的には、「震災伝承・災害対応」、「食・水産」、「最新技術」、「福島国際研究教育機構（エフレイ）」をテーマとする「復興のストーリー」を、インタラクティブ（双方向）形式で体感・共感できる展示等を展開するとともに、震災の影響で失われた食や伝統などが、熱意のある人による挑戦によって復興に向かっていく姿を、被災地で活躍する人々との交流体験等を通じて発信する。

実施主体：復興庁、経産省、関係省庁、地元自治体、地元企業、被災地参入企業

（写真提供： 復興庁、（株）haccoba、南相馬市、 東北大学災害国際研究所、（株）人機一体、大熊町）

AP_50 経産省・復興庁

AP_79 経産省・復興庁

デジタル“奇跡の一本松”

東ゲート付近
全会期中

被災地や来場者からの「3.11や復興に関する思い」に関するメッセージで成長するデジタルの「奇跡の一本松」。

実施主体：復興庁

AP_50 復興庁

万博運営における先進技術の活用

防災DXを活用した災害・対応情報の提供

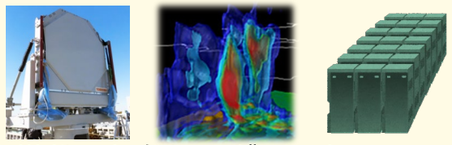
災害時の避難ルート情報の提供イメージ

防災科学技術研究所の防災DXの取組等の成果を活用し、全会期中において運営者に対し災害や安全に係る情報を適時適切に提供し、来場者等に対する避難誘導などに活用してもらう。

実施主体：防災科研、Ｉ－レジリエンス

AP_72 文科省

リモートセンシング技術による高精度データの解析・実証

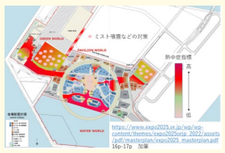


次世代の気象レーダーであるMP-PAWRを活用し、世界初の試みとなる複数台のMP-PAWRで特定地域の積乱雲等の立体的な雨雲の観測を行い、スーパーコンピュータ等で解析することで、高精度な気象予測情報を運営スタッフ等へ提供。

実施主体： NICT、理研(R-CCS)、防災科研

AP_73 総務省

熱中症・高潮浸水の高解像度物理シミュレーションによる早期情報提供



周辺環境を網羅した高精細の万博会場のデジタルツイン及び高解像度物理シミュレーションシステムを使い、会場内の熱中症リスクや会場周辺地域の高潮浸水の発生に関するシミュレーションを行い、万博運営に寄与する情報を提供。

実施主体：都市丸ごとのシミュレーション技術研究組合

AP_74 国交省

各種警察活動における小型無人機の活用

東京五輪における空域統制所での運航安全管理システムの利用状況（提供：JAXA）

万博において、新たな運航安全管理技術を警察活動に活用。警戒警備等での小型無人機の更なる活用に資する新たな運航安全管理システムを開発。将来的には災害時への活用も予定。

実施主体：警察庁等

AP_75 警察庁

POINT 07

GXによる未来社会の体験

地球の未来と生物多様性ウィーク
9.17 WED ▷ 9.28 SUN

※関連するテーマウィーク

水素・アンモニア発電による電力供給、ペロブスカイト太陽電池、CO_2回収・固定技術など、カーボンニュートラル実現に資するGX技術を先行的に実装。会場内はカーボンニュートラルを実現。

実証

CO_2排出削減・固定量最大化コンクリートの活用

サステナドーム
全会期中

製造時に排出されるCO_2を大幅に削減するコンクリートやCO_2を固定させたコンクリートで資源循環と脱炭素を両立させたドーム構造物（サステナドーム）等を設置。併せて、耐久性等の評価・分析、標準化のためのCO_2削減量実績データ等の収集を実施。

実施主体：鹿島建設株式会社、株式会社安藤・間　等

AP__14 エネ庁

ペロブスカイト太陽電池の活用

西ゲート交通ターミナル
全会期中

提供：積水化学工業プレスリリース

従来の太陽光電池では設置困難な場所にも設置可能な次世代太陽光電池の開発推進や社会実装につなげるため、シャトルバスシェルターでのデモンストレーションを実施。ファン付きウェアの電池としての活用も検討。

実施主体：積水化学工業(株)　等

AP__12 エネ庁

EXPO2025グリーンビジョン

2025年大阪・関西万博におけるカーボンニュートラルの実現及び2050年のカーボンニュートラル社会の提示に向けた脱炭素・資源循環に関する具体的なプロジェクトに取り組む。

CO_2分離・回収の実証

EXPOメッセ
9月21日～9月30日

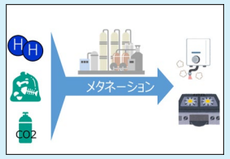
CO_2濃度の低い排ガスからの低コスト・低エネルギーなCO_2分離・回収技術の2030年の技術社会実装へ向けた足がかりとするため、実ガスを用いた実証を行う。あわせて、体験展示やパネル展示を通じ、来場者や世界への情報発信を行う。

実施主体：「Na-Fe系酸化物による革新的CO_2分離回収技術の開発」テーマコンソーシアム等

AP_13 経産省

再エネ水素を使ったメタネーション実証

会場内
全会期中



ガスの脱炭素化を実現する技術であるメタネーションの社会実装を目指し、再エネを活用した水素と生ごみを発酵させて製造したバイオガスからメタネーションした合成メタンを会場内の都市ガス消費機器で利用。

実施主体：大阪ガス株式会社

AP__10 環境省

水素発電による会場内への電力供給

会場内外
全会期中

水素発電の普及や水素社会実現に向けて、水素発電実証事業の中間的な成果を展示するとともに、大規模な水素発電による会場への電力供給を目指す。

実施主体：関西電力株式会社等

AP__7 エネ庁

合成燃料の活用拡大

会場内外
全会期中

CO_2と再エネ由来水素を原料とする合成燃料について、デモンストレーション等を通じて認知度向上を図り、社会実装につなげていく。

実施主体：民間企業等

AP__9 エネ庁

アンモニア発電による会場内への電力供給

会場内外
全会期中

アンモニアの燃料利用の実用化を見据え、ガスタービンによるアンモニア専焼を実施。会場の脱炭素化への貢献や燃料アンモニアの世界への発信を行う。

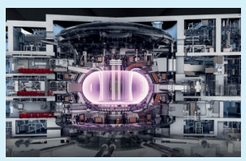
実施主体：株式会社IHI等

AP__8 エネ庁

催事

核融合エネルギー

国際機関パビリオン
全会期中



次世代のエネルギーとして期待される核融合エネルギー（フュージョンエネルギー）の可能性を示すため、世界７極の国際協力により開発を進める核融合実験炉「ITER（イーター）」を中心に、核融合エネルギーに関して展示。

実施主体：ITER機構

AP_26 文科省

脱炭素先行地域

スタジオ
テーマウィーク期間

2030年度までに前倒しでカーボンニュートラルの達成を目指す脱炭素先行地域で進められる先進的な取組等について、講演やパネルディスカッション等を通じて双方向の意見交換等を実施。

※未来のコミュニティとモビリティウィークで実施

実施主体：環境省

脱炭素先行地域

AP__15 環境省

POINT 08

循環型社会に向けた取組

地球の未来と生物多様性ウィーク
9.17 WED ▷ 9.28 SUN

※関連するテーマウィーク

循環型社会実現のための技術を紹介するともに会場内での資源循環を実現する。

展示

循環に関する展示

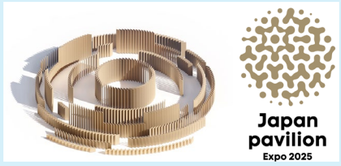
全会期中

3つのゾーンで構成される館内を一周することで、来場者自らが他のいのちとのつながりや循環の中で生かされている存在であり、地球といういのちの束の一部であることに気づくことができるような展示を実施。

実施主体：日本政府

AP__18 経産省

日本館



CLT活用のさらなる推進

会場内外

地方創生や国土強靭化、地球温暖化対策の推進等に資するCLT（ひき板を繊維方向に直交するように積層接着した木材のパネル）の認知度の向上や更なる普及促進につなげるため、日本館でCLTを活用するとともに、万博後にCLTパネルの再利用を推進する。

実施主体：民間事業者等

AP_25 内閣官房・林野庁・国交省・環境省

催事

健全な水循環に関する展示

FLE
9月23日～9月29日

水に関する理解醸成や世界の水問題の解決に寄与することを目的に、健全な水循環に関する技術や知見、歴史・文化について発信を行うとともに、水の循環を体験できるイベントを実施。

実施主体：内閣官房水循環政策本部事務局

AP__20 内閣官房

「ウッド・チェンジ」の優良事例紹介

FLE
9月23日～9月29日

森林資源の循環利用のための木材利用の意義の理解醸成、国産材の魅力の発信等を目的として、会場内でウッドデザイン賞受賞作品を紹介するとともに、「木と暮らす」「木を聴く」といった来場者の五感を刺激する体験型の展示を実施。

実施主体：林野庁

AP_24 林野庁

EXPOメッセ
9月21日～9月30日

いのち輝く未来社会のために
～サーキュラーエコノミーと大阪ブルー・オーシャン・ビジョンの実現に向けたグランドデザイン～

資源循環に関する実証・展示

「循環経済（サーキュラーエコノミー）」を実現するため、来場者参加型で、「ごみゼロ、食品廃棄ゼロ、ファッションロスゼロ」に官民連携で取り組み、資源循環について会場内外での実証・展示を実施。

実施主体：民間企業等

AP__17 経産省

サーキュラーエコノミー及び大阪ブルー・オーシャン・ビジョン

サーキュラーエコノミー及び大阪ブルー・オーシャン・ビジョンの実現に向けて、資源循環に資する技術、海洋に流出したプラスチックごみの削減等の官民連携の取組等を展示や発表等で紹介・発信。

実施主体：民間企業、自治体等

AP__19 環境省

実証

行動変容を促す資源循環のナッジ実証

会場内外

循環経済の実現と更なる加速に向けて、資源回収にナッジを組み込むことによる資源の回収率やリサイクル率等への影響を調査・分析するため、資源循環の拠点となる場所にナッジの仕組みを組み込み、回収やリサイクルの状況の可視化等を実施。

実施主体：民間企業等

AP__21 経産省

食品ロス削減の普及啓発

会場内

食品ロスを減らすことが社会的な課題になっている中で、会場内において、ナッジを応用した来場者向けの啓発活動に取り組み、来場者による食品ロスの削減を図る。具体的にはデジタルサイネージ等で食品ロス削減の呼び掛けを実施。

実施主体：消費者庁、会場内外の飲食店、再生利用事業者等

AP__22,23 消費者庁、農水省

POINT 09

こども・若者による未来社会の体験

学びと遊びウィーク
7.17 THU ▷ 7.28 MON

※関連するテーマウィーク

未来を創るこども・若者世代が、万博での体験を通して自身の考えを深めたり、それを発信する機会を提供。

催事 国連を支える世界こども未来会議の開催

EXPOメッセ
8/5-8/11

世界のこども達が集まり、SDGsを軸に平和で豊かな世界について語り合うピースコミュニケーションの場である「国連を支える世界こども未来会議」を、万博会場で開催。

実施主体：（一財）ピースコミュニケーション財団

AP_100 ご家庁

万博国際交流プログラム

会場内外
会期前～会期後

令和５年度モデル事業　岩手県矢巾町、
山形県長井市、栃木県那須塩原市×オーストリア

万博を契機に、全国のこども・若者らと万博参加国の関係者が継続的に国際交流を深めていくプログラムを実施。開幕前から交流を深め、万博会場でも、ナショナルデー等に合わせた共同イベント等を実施する。

実施主体：地方公共団体

AP_62 内閣官房

催事 デジタル学園祭

EXPOメッセ
7/18-7/21

テクノロジーの活用で社会課題を解決するコンテスト「デジタル学園祭」を実施。全国の中高生・高専生から広く参加を募る。2024年11月に第１回を実施し、万博では2025年の第２回優秀作品の展示・紹介を行う。

実施主体：デジタル人材共創連盟、大阪産業局、i RooBO Network Forum 、日本ストリートダンススタジオ協会

AP_34 経産省

教育における活用

「ジュニアEXPO2025」教育プログラム

教育プログラム使用教材(小学校版、中学校版)

万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」を通じてSDGsへの理解を深める小・中学生向け教育プログラムを全国の学校で実施。

実施主体：内閣官房・経済産業省・文部科学省、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会

AP_61 内閣官房･経産省･文科省

出前授業

万博を通じてSDGs等について学ぶ出前授業を、全国の学校で実施

実施主体：内閣官房

修学旅行等に係る情報発信

修学旅行等における大阪・関西万博の活用について、都道府県等や学校関係者に対し、情報発信を行う。

実施主体：内閣官房・経済産業省・文部科学省、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会

AP_60 内閣官房･経産省･文科省

POINT 10

障がい者が参加・参画する共生社会

平和と人権ウィーク
8.1 FRI ▷ 8.12 TUE

※関連するテーマウィーク

万博会場内外において、障がいの解消に資する技術の紹介や、障がい者が参加するイベント開催などを通じて、障がい者が社会の対等な構成員として社会の活動に参加・参画する共生社会を体感。

催事　障害者の文化芸術国際フェスティバル

EXPOホール
10/8～10/10

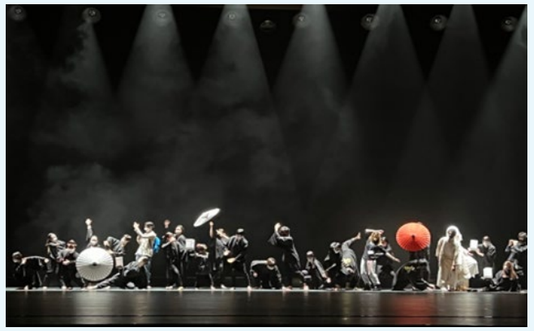
障がい者等で構成する国内外の優れた芸術団体が複数出演し、障がい者の表現や芸術の多様性とその魅力を示す。和太鼓演奏、石見神楽（伝統芸能）、音楽、ダンスや演劇、障害者とプロアーティストとの共演など、多彩なパフォーミングアーツステージを展開。

実施主体：一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会

AP_54 文化庁

催事　ダンスドラマ Breakthrough Journey

EXPOホール
10/7



障害の有無、性差、国籍、民族、言語など異なる背景を持つダンサーが、それぞれが暮らす地域を舞台に、国内外の伝統・民俗芸能をダンスと融合させた「ダンスドラマBreakthrough Journey」を創作。11地域の小作品は舞台上でパズルのように組み立てられ、一つの物語となる。

実施主体：ビッグ・アイ協働機構

AP_54 文化庁

実証　再掲　AIスーツケースの実証

（調整中）
全会期中

視覚障害者を目的地まで安全に誘導する自律型ロボット「AIスーツケース」の複数台同時稼働及び屋内外走行を万博会場で実証し、社会実装への契機とすることで、AI・ロボティクス技術を活用したバリアフリーな社会を目指す。

実施主体：国立研究開発法人　科学技術振興機構
日本科学未来館、一般社団法人次世代移動支援技術開発コンソーシアム

AP_36 文科省

POINT 11

SDGs達成に向けた取組の発信

SDGs Beyond いのち輝く未来社会ウィーク
10.2 THU ▷ 10.12 SUN

※関連するテーマウィーク

持続可能な開発目標（SDGs）とその先に向けた取組を紹介し、取組の加速につなげる。

ウーマンズパビリオン出展事業

ウーマンズ パビリオン
全会期中

全ての女性が活躍することができる社会の実現を目指して、官民を挙げて積極的な取組を進めている中で、日本の取組や日本における女性活躍の状況を広く国内外に発信するとともに、世界における女性活躍の状況を紹介。

実施主体：内閣府、経済産業省、リシュモン ジャパン株式会社 カルティエ

AP__91 内閣府・経産省

2030年ネイチャーポジティブの実現に向けて

ギャラリーWEST
9月18日～9月24日

＜自然共生サイトの例＞

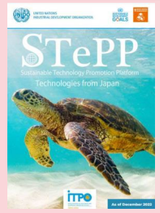
ネイチャーポジティブ実現の重要性や波及効果等を紹介し、来場者の意識改革と行動変容を促進するため、2030年ネイチャーポジティブに向けた取組（自然共生サイト、外来種対策等）の企画展示を実施。

実施主体：環境省、民間企業等

AP__49 環境省

サステナブル技術普及プラットフォーム（STePP）登録技術

FLE
9月23日～9月29日



開発途上国の持続的な産業開発のために日本の技術の投資または輸出等に付随させた技術移転の促進を目指し、「STePP」に登録された技術（エネルギー、環境、アグリビジネス、保健衛生、災害対策）の実機を万博会場内に展示。

実施主体：国際連合工業開発機関（UNIDO）東京投資・技術移転促進事務所

AP__86 経産省

地方創生SDGsフェス/SDGsグランプリ

EXPOメッセ/EXPOホール
5月26日～6月2日/8月21日

地方創成SDGsの理念に沿った自治体・官民連携等の取り組みについて、体験型の展示やコンテスト・イベント等を実施することで、持続可能なまちづくりや地域活性化の取組を紹介。

実施主体：内閣府地方創生推進事務局・博覧会協会

AP__92 内閣府

「共創の場」が創る"未来のありたい社会"

EXPOメッセ
8月14日～8月19日

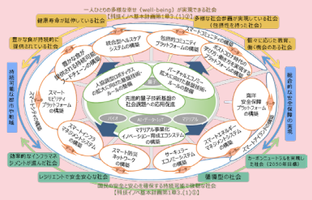
大学等を中心とする産学官連携事業の参画拠点による成果の発信、体験型コンテンツ等を通じ、社会課題を自分事として捉える機会を提供。

実施主体：文部科学省

AP__78文科省

戦略的イノベーション創造プログラムの成果発信

会場外
（展示場,オンライン）
日時未定



基礎研究から実用化・事業化までを見据えて一気通貫で、府省連携による分野横断的な取組を産学官連携で推進するプログラムであるSIPの研究開発成果を、シンポジウム等を通じて発信。

実施主体：SIP課題関係者

AP__77 内閣府

環境省によるバーチャル万博

バーチャル会場
全会期中

万博のバーチャル会場プラットフォーム上で、環境省のバーチャルパビリオンを出展し、第六次環境基本計画で示す社会像等のコンセプト及び我が国におけるの環境保全の取組等を国内外に向けて効果的に発信することで、環境保全に対する理解促進と行動変容を促進。

実施主体：環境省

AP__96 環境省

外国人との共生社会の実現に向けた取組

関西国際空港
8月1日～8月12日

外国人との共生社会を実現するため「安全・安心な社会」「多様性に富んだ活力ある社会」「個人の尊厳と人権を尊重した社会」に関する取組について、関西国際空港でのブース設置やグッズの配布などを通して理解を広める。

実施主体：出入国在留管理庁、大阪出入国在留管理局関西空港支局

AP__95 入管庁

スポーツの多様性や可能性の発信

EXPOメッセ
9/1-9/9

共生社会や健康長寿社会の実現に資する事例紹介や先端の技術を活用した新しい「する」「みる」「ささえる」スポーツに係る取組の展示・体験等を行い、スポーツの多様性や新たな可能性を国内外に訴求する。

実施主体：スポーツ庁

AP_59 スポ庁

POINT 12

クールジャパン・日本の文化の発信

未来への文化共創ウィーク
4.25(火) ▷ 5.6(水)

※関連するテーマウィーク

世界的に人気な日本のアニメ・マンガなどのクールジャパンコンテンツを国内外に広く発信する。未来を想起させる創造的な展示手法や外国人視点で日本文化の魅力を再発見につなげる。

催事 Japan Expo Paris in Osaka 2025

EXPOメッセ 4/26-4/27

「ものづくりの技」と「アニメ等コンテンツ」を連動して体感できる展示を実施。パリで行われているJapan Expoとコラボして、国外から見た日本カルチャーの魅力を紹介し、新たな気付きを生み出す。

実施主体：近畿経済産業局、民間事業者等

AP_66 経産省

催事 大阪・関西万博と連携したゲーム・eスポーツの発信

EXPOメッセ 7/21-7/25

「いのち輝く未来社会のデザイン」のテーマにのっとって、日本が世界に誇るゲーム・eスポーツが実現する社会的な意義を大きくアピールすることで、ゲーム・eスポーツの社会的な地位向上を図る。

実施主体：一般社団法人日本eスポーツ連合

AP_33 経産省

催事 地域の魅力発信・クールジャパン推進

EXPOメッセ 4/30-5/2

アニメ・マンガ等を起点に日本の魅力を発信。作品の舞台である地域への誘客を促し、日本の魅力の体験を通して、日本ファンの拡大や、持続的な経済活動の活性化につなげる。
また、日本のアニメ・マンガの世界への広がりを紹介・体感する展示を実施。

実施主体：民間事業者、地方公共団体等

AP_55 内閣府

催事 日本の伝統文化の発信

日本の伝統芸能に関連した展示・実演を行う。実演家団体などから協力を得て、日本の魅力を発信する。

AP_54 文化庁

アートを起点とした国際交流

迎賓館 全会期中

画像提供:
2025年日本国際博覧会協会

ART TOKYO ASSOCIATION

迎賓館の貴賓室等において日本や各国若手アーティストの作品を設置する。

実施主体：一般社団法人アート東京

AP_65 経産省

POINT 13

地域の魅力の発見・発信

未来への文化共創ウィーク
4.25FRI ▷ 5.6TUE

※関連するテーマウィーク

日本の地域の魅力を再発見し、世界中からの来場者に発信することで、インバウンドの拡大や地域振興につなげる。

催事 日本の工芸品・和楽器の対外発信

ギャラリーEAST 8/19-8/25、9/2-9/4

ポップアップステージ南 9/2-9/4

日本の工芸品・和楽器の対外発信に向け、伝統的工芸品をデジタル技術と連携して魅せる展示や、ライフスタイルの変化を踏まえた新たな工芸品と異分野連携、海外からの来訪者に向けた和楽器によるイベント等を実施。

実施主体：一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会、一般社団法人全国邦楽器組合連合会

AP_56 経産省

催事 日本の建築文化

ギャラリーWEST 9月8日～9月14日

戦後の日本文化を代表する重要なコンテンツとして世界的評価の高い日本の近現代建築とその景観、さらに会場内のパビリオンについて、建築を学んでいる学生やこども達、訪日外国人など様々な人が深く理解する機会を提供するため資料展示、ツアー等を実施。

実施主体：文化庁国立近現代建築資料館　ほか

AP_64 文化庁

催事 花き園芸文化の発信

ギャラリーEAST 9月23日～9月27日

気候変動や生物多様性の損失等の地球規模の課題に対する我が国の姿勢を世界に発信する場としての2027年に開催される国際園芸博覧会の開催情報を発信。国産花きによるいけばなや盆栽等を用い、日本の園芸文化の発信を行う。

実施主体：公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会

AP_67 農水省・国交省

催事 琉球祭 Ryukyu Festival

ポップアップステージ南 5/4～5/6

琉球国の国際交流の精神を復活させ、より豊かな世界との交流・共生の希望の火を灯すため、琉球舞踊や獅子舞、民謡などを上演する。また、今は失われた首里城の「からくり花火」を復活・紹介する。

実施主体：国立劇場おきなわ

AP_ 54 文化庁

催事 アイヌ文化の対外発信

工芸品等の展示：**ギャラリーEast** 6/10-6/12

アイヌ舞踊：**EXPOホール** 5/17

アイヌ民族の伝統舞踊（リムセ）

アイヌ文様の工芸品

万博を契機としたアイヌ文化の対外発信を推進するとともに民族共生象徴空間（ウポポイ）への誘客促進を図るため、伝統的なアイヌ舞踊を披露するイベントの実施や関連する工芸品等の展示を行う。

実施主体：文化庁、国交省、関係機関

AP_58 内閣官房

催事 国立公園満喫プロジェクト

ギャラリーWEST 9月18日～9月24日

日本の傑出した自然景観を有する国立公園の魅力と国立公園保護の重要性を感じてもらうため、国立公園での上質な旅やネイチャーポジティブツーリズムの先進事例を展示や映像で紹介し、自然の中でのリアルな旅の意義を再確認できるような展示を実施。

実施主体：環境省、国立公園オフィシャルパートナー企業等

AP_48 環境省

万博を契機とした「全国」の地方創生に資する取組支援

全国各地域 開催前から期間中

万博の開催を契機として、地域における観光振興・ローカルイノベーション・人材育成等の地方創生に資する事業を実施する自治体を、デジタル田園都市国家構想交付金を活用して支援。

実施主体：都道府県等

AP__93 内閣府

大阪・関西万博からつなぐ全国への誘客促進

全国各地域 開催前から期間中

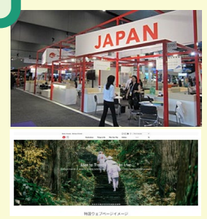
全国への誘客を促進するため、文化・自然・食・スポーツ等の様々な分野における特別な体験を全国各地で創出し発信する。また、地域資源を活用した観光コンテンツの造成や地域周遊の促進を支援、受入環境整備やDXの推進を行う。

実施主体：関係府省庁、博覧会協会、地方自治体、DMO（観光地域づくり法人）、JNTO（日本政府観光局）等

AP_47 内閣官房・観光庁

MICEの誘致・開催の推進

全国各地域 開催前から期間中



企業のミーティング・インセンティブ旅行（M・I）の誘致・開催を促進するため、地域一体となったM・I向けコンテンツの開発を支援。あわせて、我が国でのMICE全体の開催件数を増加させるため、誘致力強化に向けた支援を実施する。

実施主体：観光庁、JNTO（日本政府観光局）、関係府省、各都市等

AP_97 観光庁

「ポスト万博シティ」の推進

けいはんな学研都市 会期前～会期後

万博で披露される革新技術等の様々な成果を次代に引き継ぎ、社会に実装していくために、けいはんな学研都市を「ポスト万博シティ」として位置づけ、「ウェルビーイング」など4つのテーマを催事等を開催し、万博後の技術・人的交流等につなげる。

実施主体：経済産業省、(公財)関西文化学術研究都市推進機構 等

AP_63 経産省

POINT 14

食の文化と暮らしの発信

食と暮らしの未来ウィーク
6.5(FRI) ▷ 6.16(MON)

※関連するテーマウィーク

日本の豊かな食文化と、それを維持するための取組を世界に発信。

催事

食・農林水産業の魅力発信

EXPOメッセ
6月7日～6月15日

伝統をつなぐ

日本食文化・ジビエ・農泊・農業遺産・海業の発信

日本食やお茶の体験、VR等を活用したバーチャルトリップ、ジビエの試食や野生鳥獣の利活用の取組の展示。農泊や農村文化の体験、海業のPR等の体験型展示を実施。

実施主体：日本食文化・農泊・ジビエ等の官民実施主体

AP__51 農水省、水産庁

日本の食文化の発信

郷土料理等の日本を代表する料理に触れる機会の提供、日本の食文化の魅力を伝える映像の発信等を行う。

実施主体：食文化関係省庁、食文化の保護・継承に取り組む民間団体等

AP__52 文化庁

多様性をつなぐ

スマート林業

シミュレーターを使った林業機械の操作体験やミニチュア林業機械の展示など、「スマート林業」に関する体験型展示を実施。

実施主体：スマート林業技術の実装に向けた情報発信ができる者

AP__81 林野庁

未来へつなぐ

フードテック事業創出の推進

植物性タンパク質、細胞性食品、ゲノム編集食品、個人最適化食、３Dフードプリンター、AIロボットなどの農林水産・食品分野で実装が期待される先端技術の展示を通じて世界に日本の技術力を発信。

実施主体：フードテックに関する官民実施主体

AP__83 農水省

日本産酒類の情報発信

酒蔵を模した造作のほか、パネル・動画の展示等を通じて日本産酒類に関する情報を発信。また、展示等に併せて、日本産酒類の試飲を実施。

実施主体：国税庁等

AP__53 国税庁

スマート農業

未来の農業をイメージできるスマート農業に関する先端技術の展示を実施。

実施主体：スマート農業技術の実装に向けた情報発信ができる者

AP__80 農水省

スマート水産業

スマート海洋観測ブイ

定置網という我が国に特徴的かつ伝統的な漁法における、スマート水産技術やグリーン技術の導入・活用についての取組を発信。

実施主体：スマート水産技術の実装に向けた情報発信ができる者

AP__82 水産庁

「みどりの食料システム戦略」の実現

環境と調和した持続可能な食料システムの構築を目指し、生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現する「みどりの食料システム戦略」に基づく取組の紹介や体験の機会の提供。

実施主体：農林水産省、民間企業等

AP__84 農水省

POINT 15

スタートアップ・中小企業発信

SDGs Beyond いのち輝く未来社会ウィーク
10.2(月) ▷ 10.12(金)

※関連するテーマウィーク

未来社会の実現に向け重要な技術を持つスタートアップや中小企業を世界に紹介し、新たなビジネス創出につなげる。

催事 Global Startup EXPO 2025

EXPO メッセ
9月17日、18日

地球規模の課題解決にスタートアップが果たす役割が期待されている中、日本・関西のスタートアップの技術・サービスを世界に発信するため、世界中のスタートアップ関係者によるセッション、デモブース展示等を実施。

実施主体：経済産業省・独立行政法人日本貿易振興機構（JETRO）、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）を想定

AP_89 経産省

催事 未来思考の中小企業の魅力・価値の発信

EXPO メッセ
10月1日～10月8日

未来思考の製品コンセプト、テクノロジー、ものづくり技術等を有する中小企業の魅力・価値を表現する展示を行い世界に発信するとともに、会場外での商談会、オンライン商談会等も併せて実施することで、出展者が普段リーチできない販路への拡大を目指す。

実施主体：中小企業庁・独立行政法人中小企業基盤整備機構

AP_87 中企庁

催事 知的財産の活用による社会課題解決の実現

EXPOメッセ、スタジオ
10月2日～10月10日

知財を活用して社会課題解決への想いを実現した個人・企業の事例や、新技術を実演・展示。あわせて、社会課題解決に向けた知財活用の促進等に関する国際フォーラム等を開催。

実施主体：特許庁、近畿経済産業局、INPIT、日本弁理士会、I-OPENプロジェクト参加企業等

AP_85 特許庁

催事 ICTスタートアップによる取組発信

FLE
9月16日～9月22日

近未来の身近な課題解決・サービス展開についてICT利活用による「その一歩が、未来を動かす」ことを実感していただくとともに、アントレプレナーシップ醸成の一助とするため、過去の起業家万博等受賞者等による展示やピッチイベント、講演会等を行う。

実施主体：情報通信研究機構（NICT）デプロイメント推進部門 アントレプレナー支援室

AP_88 総務省

催事 人材育成×観光＝X-salon構想

スタジオ
7月17日

北海道の十勝において、地域の関係者と共創しながら計画中の「X-salon構想」（自然の中での体験等によるアドベンチャートラベルを通じたビジネス客の人材育成プログラム）を、会場内で発信・議論。

実施主体：X-salon構想共創チーム
（国土交通省北海道開発局・地方自治体・民間事業者等）

AP_68 国交省

催事 ヘルスケアビジネスコンテスト

スタジオ
7月17日

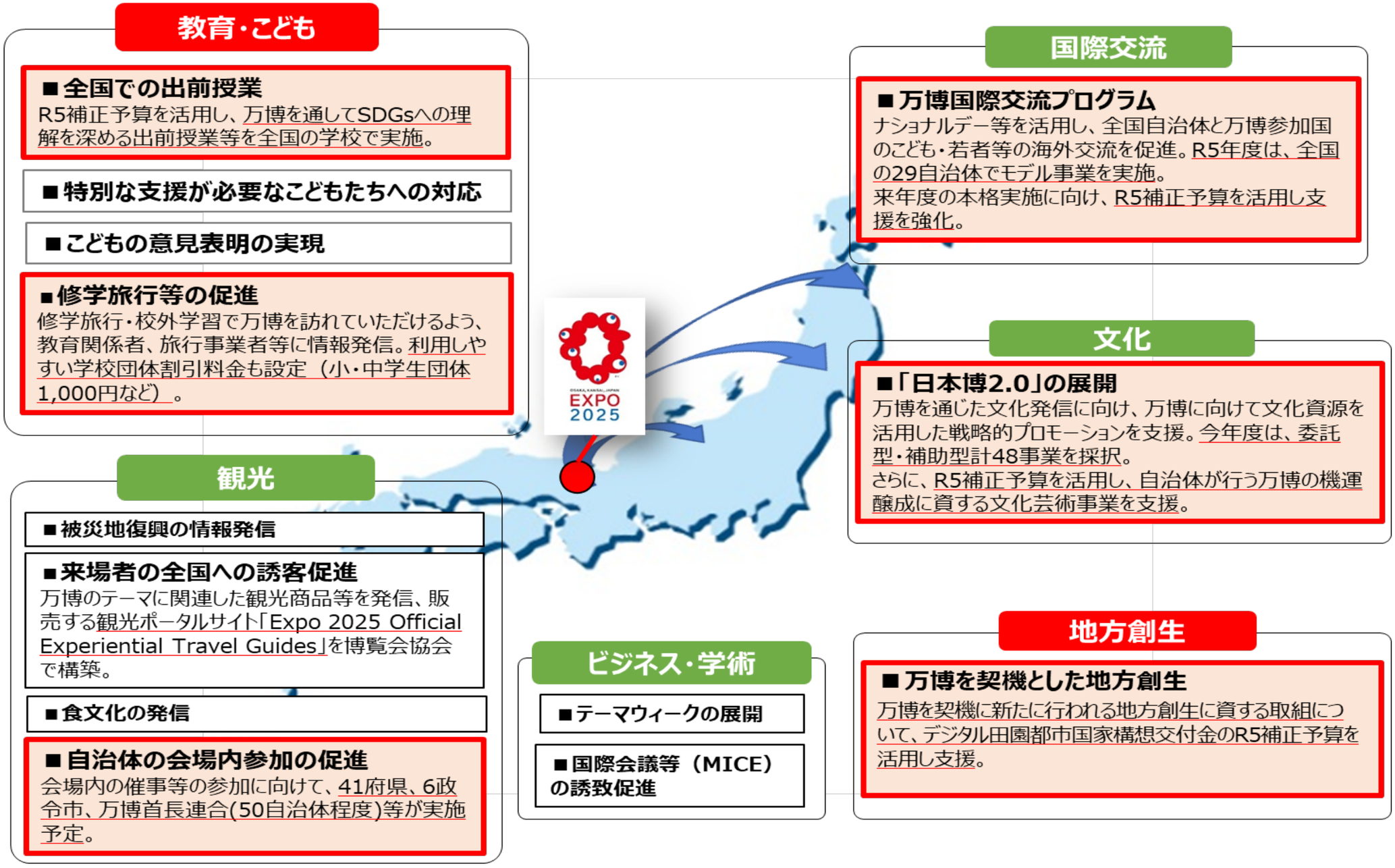
ヘルスケアウィーク等と連動し、期間内にグローバル規模でのビジネスコンテストの最終審査プレゼン・表彰や、過去の受賞者等によるサービス体験イベント等を検討。日本の優れたビジネスシーズを世界に発信し、国際展開の加速を狙う。

実施主体：ジャパン・ヘルスケアビジネスコンテスト運営事務局

AP_41 経産省

万博交流イニシアチブ

- 令和４年12月、各省の協力を得て、万博を契機に交流人口の拡大を含む地域活性化を図る施策を取りまとめた「万博交流イニシアチブ」を立ち上げ。令和５年度補正予算も活用し、令和６年度から取組を強化。
- 全国各地で、万博を、こどもたちの育成や、地元への観光誘客、国際交流等の好機として捉えた取組を進めていただくことで、取組に関わるこどもたちや住民等が、自ら万博に関わっているという意識を醸成。



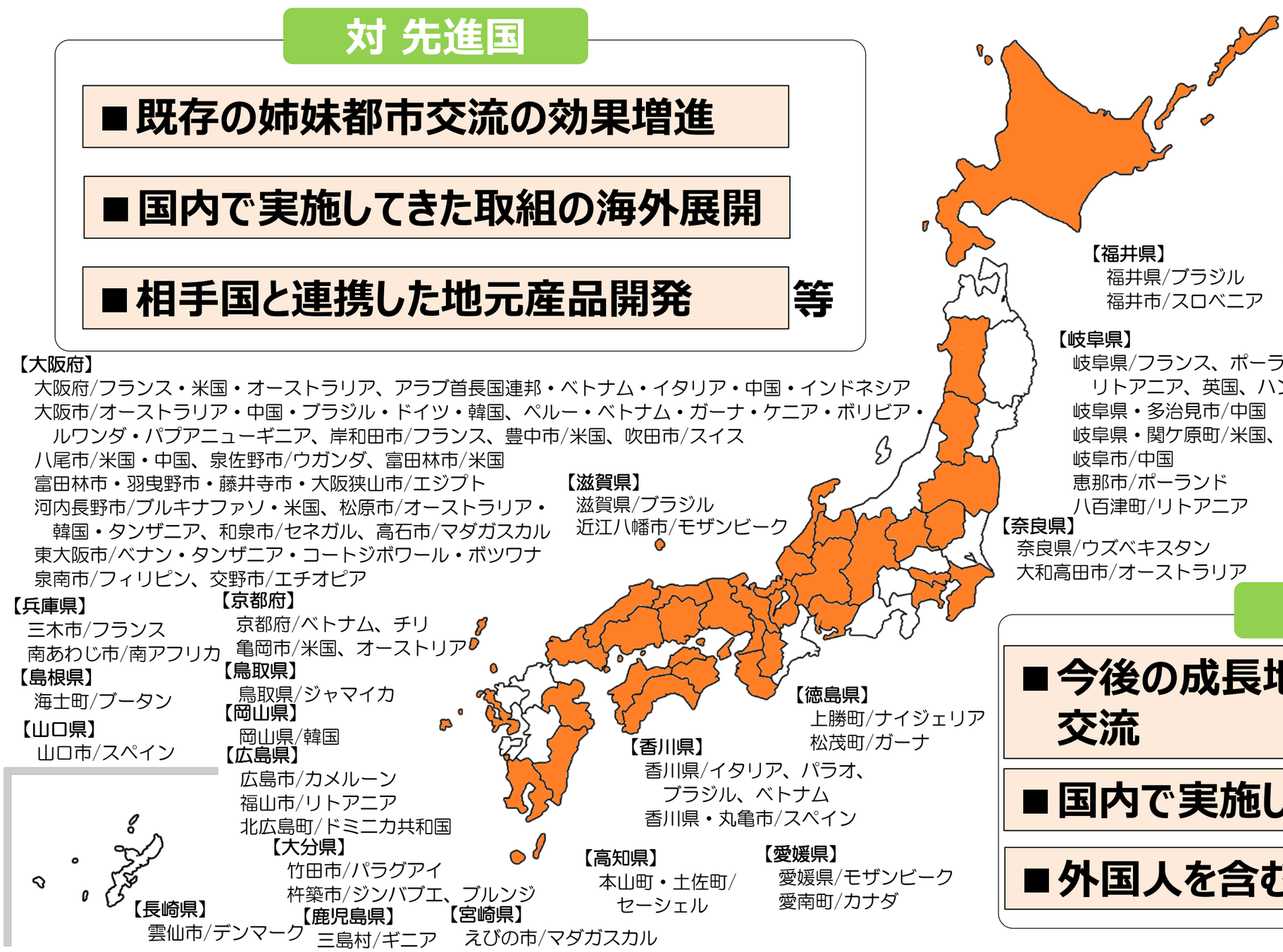
万博国際交流プログラムについて

- **全国の自治体と万博参加国のこどもや住民等の間での、ビジネス・文化を始めとする幅広い分野での国際交流の取組を支援。**
- 万博開催を契機に、自治体が万博参加国と既存の交流を活性化させたり、新たな交流を始めたりすることを通じて、地域のこどもたちの育成や、地域の魅力の発信、経済的な交流の強化等、**万博開催後も地域のレガシーとなる取組を促進**。
- **8月末までに登録された交流計画は111件（76自治体（11府県65市区町村））。交流相手国は67か国。**

対 先進国

- **既存の姉妹都市交流の効果増進**
- **国内で実施してきた取組の海外展開**
- **相手国と連携した地元産品開発**

等



【北海道】
東川町/ラトビア、カナダ
大空町/セーシェル
浦幌町/マリ

【秋田県】
にかほ市/リベリア

【福島県】
南会津町/アルメニア

【山形県】
村山市/ブルガリア
遊佐町/マダガスカル

【栃木県】
那須塩原市/オーストリア

【東京都】
渋谷区/ペルー

【群馬県】
富岡市/ミクロネシア
甘楽町/中国、ミクロネシア
みなかみ町/コンゴ民主共和国

【福井県】
福井県/ブラジル
福井市/スロベニア

【愛知県】
稲沢市/ギリシャ
美浜町/シンガポール

【千葉県】
横芝光町/ベリーズ

【岐阜県】
岐阜県/フランス、ポーランド、リトアニア、英国、ハンガリー
岐阜県・多治見市/中国
岐阜県・関ケ原町/米国、ベルギー
岐阜市/中国
恵那市/ポーランド
八百津町/リトアニア

【神奈川県】
大磯町/ウガンダ

【富山県】
南砺市/トリニダード・トバゴ

【石川県】
石川県/韓国
志賀町/アゼルバイジャン

【長野県】
駒ケ根市/ネパール
宮田村/韓国

【奈良県】
奈良県/ウズベキスタン
大和高田市/オーストラリア

【和歌山県】
有田市/アラブ首長国連邦

【大阪府】
大阪府/フランス・米国・オーストラリア、アラブ首長国連邦・ベトナム・イタリア・中国・インドネシア
大阪市/オーストラリア・中国・ブラジル・ドイツ・韓国、ペルー・ベトナム・ガーナ・ケニア・ボリビア・ルワンダ・パプアニューギニア、岸和田市/フランス、豊中市/米国、吹田市/スイス
八尾市/米国・中国、泉佐野市/ウガンダ、富田林市/米国
富田林市・羽曳野市・藤井寺市・大阪狭山市/エジプト
河内長野市/ブルキナファソ・米国、松原市/オーストラリア・韓国・タンザニア、和泉市/セネガル、高石市/マダガスカル
東大阪市/ベナン・タンザニア・コートジボワール・ボツワナ
泉南市/フィリピン、交野市/エチオピア

【滋賀県】
滋賀県/ブラジル
近江八幡市/モザンビーク

【兵庫県】
三木市/フランス
南あわじ市/南アフリカ

【京都府】
京都府/ベトナム、チリ
亀岡市/米国、オーストリア

【島根県】
海士町/ブータン

【鳥取県】
鳥取県/ジャマイカ

【山口県】
山口市/スペイン

【岡山県】
岡山県/韓国

【広島県】
広島市/カメルーン
福山市/リトアニア
北広島町/ドミニカ共和国

【徳島県】
上勝町/ナイジェリア
松茂町/ガーナ

【香川県】
香川県/イタリア、パラオ、ブラジル、ベトナム
香川県・丸亀市/スペイン

【大分県】
竹田市/パラグアイ
杵築市/ジンバブエ、ブルンジ

【高知県】
本山町・土佐町/セーシェル

【愛媛県】
愛媛県/モザンビーク
愛南町/カナダ

【長崎県】
雲仙市/デンマーク

【鹿児島県】
三島村/ギニア

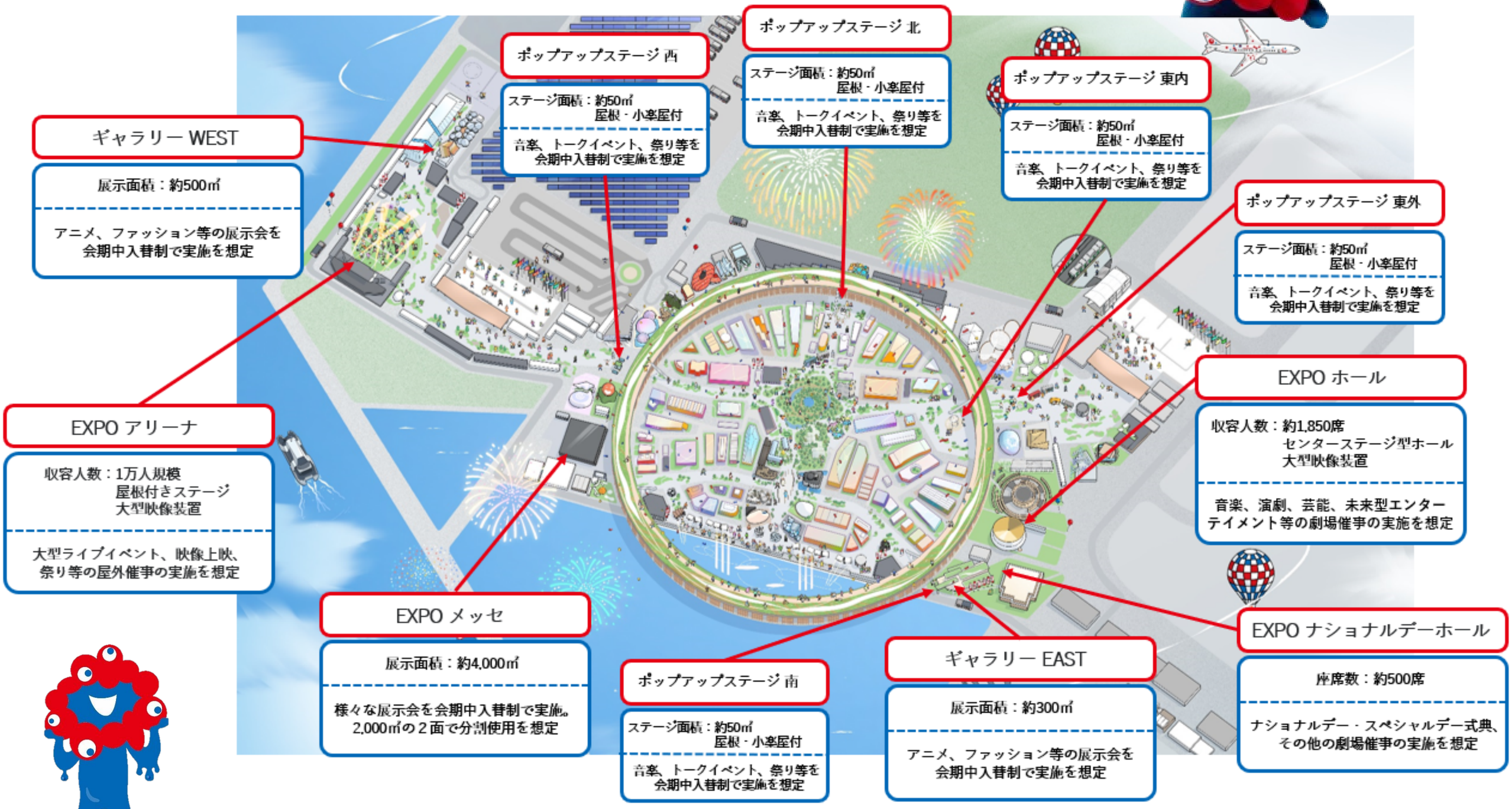
【宮崎県】
えびの市/マダガスカル

対 途上国

- **今後の成長地域（アフリカなど）との交流**
- **国内で実施してきた取組の海外展開**
- **外国人を含む多様化社会の意識喚起**

等

（参考）催事施設の場所


ギャラリー WEST
展示面積：約500㎡
アニメ、ファッション等の展示会を会期中入替制で実施を想定
ポップアップステージ 西
ステージ面積：約50㎡
屋根・小楽屋付
音楽、トークイベント、祭り等を会期中入替制で実施を想定
ポップアップステージ 北
ステージ面積：約50㎡
屋根・小楽屋付
音楽、トークイベント、祭り等を会期中入替制で実施を想定
ポップアップステージ 東内
ステージ面積：約50㎡
屋根・小楽屋付
音楽、トークイベント、祭り等を会期中入替制で実施を想定
ポップアップステージ 東外
ステージ面積：約50㎡
屋根・小楽屋付
音楽、トークイベント、祭り等を会期中入替制で実施を想定
EXPO アリーナ
収容人数：1万人規模
屋根付きステージ
大型映像装置
大型ライブイベント、映像上映、祭り等の屋外催事の実施を想定
EXPO ホール
収容人数：約1,850席
センターステージ型ホール
大型映像装置
音楽、演劇、芸能、未来型エンターテイメント等の劇場催事の実施を想定
EXPO メッセ
展示面積：約4,000㎡
様々な展示会を会期中入替制で実施。2,000㎡の２面で分割使用を想定
ポップアップステージ 南
ステージ面積：約50㎡
屋根・小楽屋付
音楽、トークイベント、祭り等を会期中入替制で実施を想定
ギャラリー EAST
展示面積：約300㎡
アニメ、ファッション等の展示会を会期中入替制で実施を想定
EXPO ナショナルデーホール
座席数：約500席
ナショナルデー・スペシャルデー式典、その他の劇場催事の実施を想定